

天安門の虐殺についての声明

一九八九年六月四日未明、中国天安門において政府が民主化を求める学生を中心とする勢力に対して行った大弾圧は、世界中に大きな衝撃を与えた。社会主義を擁護する者も批判的な者も、一様に中国政府の暴挙を非難したが、最近ではそのトーンは随分と下がってしまったように思われる。

ピープルズ・プラン二十一世紀全国実行委員会では、中国政府に抗議し、民主化運動の中で倒れた同志や、またいまもなお、厳しい弾圧の中で不屈の闘いをつづける同志達への連帯を示すために、事件から一カ月余り後の七月十三日に集会を開いた。当日は会場に入りきれない人がでるほどの大盛況であった。以下の声明は同集会において出された。

(編集部)

声明

去る六月四日未明、民主化を求めて力強く立ち上がった中国の学生、民衆に戒厳軍が戦車と機関銃をもっておそいかかり、数千人を無差別に虐殺したとき、わたしたちは自分の耳をうたがい、目を信じることができませんでした。虐殺から数日後、高齢の軍、党の指導者たちは、そろってテレビにあらわれて、嬉々として「勝利」を祝いました。その後の事態の展開はいっそうおぞましいものです。自国の最良の息子、娘たちへの虐殺の命令者、実行者たちは、その行為を、暴乱分子から社会主義を救う防衛的行動であるかのごとく描きだし、一切の報道をその線で管理しながら、四月以降の民衆の運動への報復に全力をあげています。民衆を脅迫し、密告を奨励し、労働者、市民を、即決裁判でつぎつぎに死刑に処し、全世界にたかまつた抗議を冷笑し、在外華人の抗議を抑圧するため、公安警察を世界中に派遣したと伝えられます。恐怖による沈黙が全中国をおおっています。

この醜態で血なまぐさい行為によって守られたのは、「社会主義」ではありません。すでに腐敗をきわめ、民衆の抑圧者になった権力集団の利益です。この権力集団は、中華人民共和国を算奪し、私物化

し、中国共産党を自己の私党にかえ、かつて輝かしい伝統を誇った人民解放軍を人民虐殺軍に墮落させたのです。

言い表わせぬ怒りと悲しみをもってわたしたちは、この権力集団の行爲と思想を非難します。わたしたちは、その正当性を認めません。

戒厳軍とこの権力がふみにじったものは中国の未来であり、中国民衆の中にはぐまれた希望そのものでした。世界中が知っているように、四月以来の学生の主導した大民主化運動は、言論の自由を獲得し、過去一〇年の「開放政策」のもとで党と国家の特権層をふかくむしばむにいたった腐敗の一掃をもとめ、民衆の介入をゆるさない「人治」を憲法にもとづく「法治」にかえる、といった普遍的な要求を獲得するためのものであり、学生たちはそのために政府との対話をもとめたものでした。そして北京の民衆は労働者も市民も政府や党機関の人びとも、こぞってそれを支持し、一〇〇万を越える民衆が、平和的なデモでその意志を明確に表示しました。民衆の力で北京の秩序は見事に維持され、建設的な活気とエネルギーが中国の首都を満たしました。

中国に社会主義がよみがえるとすれば、中国の未来を思うこの民衆の力と一体化してこそ、それは可能になったでありましょう。その力をふみにじり、

沈黙させることから、どのような社会主義が生まれるでしょうか。今回の虐殺はこの意味で権力者による「反革命暴乱」にほかなりません。

世界は大きく変わりつつあります。圧政があるところ、それがどこであれ、それがどのような主義を自称する権力によるものであれ、民衆はもはや黙っていません。八〇年五月、八〇万の光州の民衆に銃剣をかざして襲いかかり、二〇〇〇人の市民を虐殺した全斗煥はわずか六年にして、韓国民衆の力によって倒されました。ビルマでも、民主主義をもとめて立ち上がった民衆は、軍による血なまぐさい弾圧の前にいったんは押さえこまれたかに見えますが、ここでも韓国で起こったと同じ運命が独裁政権を待ち受けていることは疑いありません。民衆に対する権力の犯罪が承認され、長く許される時代は去りました。民衆の力は全世界でじわじわと高まっています。そこに二十一世紀をむかえる今日の同時代性があります。天安門において、中国の民衆は、この世界の民衆の流れに、疑いなく合流しました。

わたしたちは、民衆の力、民衆の解放の力を信じつつ、アジア太平洋において、二十一世紀に向かう民衆がともに未来を自分たちの力でつくりあげる出発点を築こうと、「ピープルズ・プラン二十一世紀」をすすめています。この地の民衆の「希望の連合」

を実現しようと歩みだしています。わたしたちは、アジア太平洋の民衆が兄弟姉妹として結びつくことのできる未来をめざして、このプログラムをすすめているのです。

戒厳軍によって、中国民衆のなかに生まれた希望を、血の海に沈め、暴力によって中国の良心への報復にふける中国の権力者たちは、したがって、中国の民衆に参戦を布告したばかりでなく、アジア太平洋の民衆全体に、また正義を平和をもとめる世界の民衆に敵対することをえらんだのです。戒厳体制の暴力は、中国民衆だけではなく、またわたしたちにもむけられているとわたしたちは考えます。わたしたちは民主主義をもとめる中国民衆との熱い連帯を表明します。アジアの民衆とともにわたしたちは、みなさんとともにあります。

立ち上がった民衆に対しては、国家は基本的に国家を擁護します。全世界において民衆への残酷無比な抑圧、虐殺を支持してきたアメリカ合衆国はこの事態を政治的に有利に利用と動いています。その目には中国民衆の本当の利益などまったく見えないのです。アメリカ合衆国政府には虐殺された中国民衆に涙を流す資格などまったくありません。原則というものをもちあわせていない日本政府にひたっては、経済的利益以外のものは存在しないにひ

としいのです。

わたしたちは中国政府に要求します。

- 一、戒厳令の即時解除
- 二、六月の北京の事態についてのデマ宣伝の中止と言論の自由の回復
- 三、報復的逮捕、処刑の中止、在外華人への脅迫、迫害の中止
- 四、天安門虐殺の命令者、実行者の辞任と処罰
- 五、民主化運動の復権

わたしたちは日本政府に要求します。

- 一、人権の原則にしたがい、以上のような要求を中国政府につよく申し入れ、それについて進展がないかぎり、現政権を正当化するような一切の政治的、経済的関係を凍結すること
- 二、在日中国留学生、在日外国人の人権を実効的にまもる誠実な処置をとること。

一九八九年七月十三日

ピーブルズ・プラン二十一世紀

討論集会「中国民衆のたまたかいとわたしたちの立場——天安門虐殺に抗議する」

P.P21 沖縄。

「アジア・太平洋・琉球孤住民交流集会」8/16-19
連日行動

PACTの北

17日の午前11時と夜の11時
まで、読谷村の残波岬に11の
会場に2000名以上が参加。
会場からは、海-シマツノシロ
ヤブイブク、エナジー、スーパースピリット
のアドバンテージ、言談、工学などの
プレゼンテーション、西表島からToro金屋の
夜美の舞踊や工場の島唄...
そして、11の国と地域から13名の
先住民、支援者からは0歳と7歳の
子どもも参加し、平和、独立、反核の
心を共有し、表現し、共に未来を切り
拓いていこうと約束した。
満月の月明りがカンザンとソリになる
中で、人種、国境を越えた民衆の語り
の輪は117子で大きく揺れ続けた...

沖縄、アジア・太平洋 反基地交流集会

18日、夕方からコサ中道教育会館に
100名を越える参加者。会館の外では
地域の青年達のイサーカで盛りだく
さんだった。恩納村の若者ケリラ戦隊の
練施設に反対して斗っている各村の若
村長や代表者の発言に100名、一歩反
基地集会本部の、軍事研究者、東
シマツノシロの、反基地方は米軍の
破壊的なのは確か、反基地の方
から韓国には空軍がうちまわす、
その責任は誰が負うのか...
117子の参加者

asific

SIA

=パシフィック=

=アジア=

アジア・太平洋 琉球孤住民交流集会

19日は、朝から夕方まで那覇の宗教総合会館。
P.P沖縄のLメックリ集会から始まった。「子供と女性
「経済と環境問題」、「少数民族のたがえる向き」、「若者
たちへの感想とスピーチ」その中で、アジア太平洋地域からの
参加者の共通の提起として、「自決権」市民衆の普遍的
な権利となり、正義を以て平和の実現へ共に闘っ
ていこうと決意し、誓いを立てた。これは、共同
の宣言としてまとめられた。その夜、100名を越え
た一歩の歩みと終に琉球孤住民
交流会も閉じた。

Network

yukyuu

=リュウキョウ=